

# ステンレスフレキ管用継手 フレキカットジョイント・バルブ 取扱説明書

フレキカットジョイント・バルブを正しく、安全に使用していただくために、この取扱説明書をよくお読み下さい。  
クイックジョイントの場合は裏面もよくお読み下さい。

- 強制** この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。
- 禁止** この記号は、してはイケない『禁止』内容です。
- 注意喚起** この記号は、気を付けていただきたい『注意喚起』内容です。

## 【仕様及び構造】

### 【適合ステンレスフレキ管】

当社巻フレキの他、下記寸法のステンレスフレキ管（以下、フレキ管という）に使用できます。

呼び径	外径	谷径	山ピッチ	肉厚
φ16	φ16 ±0.3	φ13 ±0.3	5	0.3 <sup>+0.2</sup> / <sub>0</sub>
φ16.8	φ16.8 ±0.3	φ13.6 ±0.3	5	0.3 <sup>+0.2</sup> / <sub>0</sub>
φ20	φ20 ±0.3	φ16.1 ±0.5	5.8	0.3 <sup>+0.2</sup> / <sub>0</sub>

※呼び径φ16用の継手は、外径φ16.8フレキ管に使用できません。  
※呼び径φ16.8用の継手は、外径φ16フレキ管に使用できません。

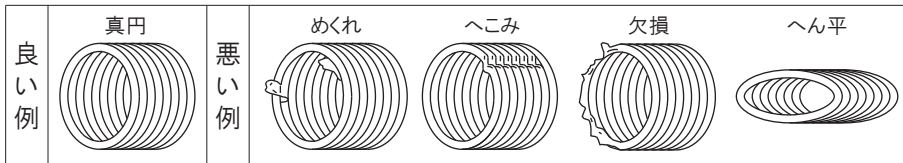
### 【仕様】

以下の仕様の範囲内で使用して下さい。  
※ガス・蒸気・エア・灯油等の油類には使用できません。

	最高許容圧力	使用温度範囲	使用流体	用途
継手	1.0MPa	-20℃～95℃	冷温水・不凍液	給水・給湯・暖房・融雪
ボールバルブ		-20℃～90℃		

## 【施工上の注意事項】

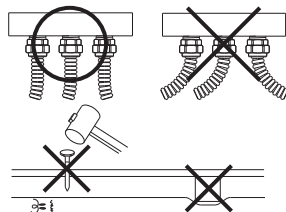
- フレキ管は、曲がりを矯正してから必ずフレキ管専用カッターを用いて切断して下さい。
- 切断面が下記表の「悪い例」の場合は、必ず切断をやり直して下さい。



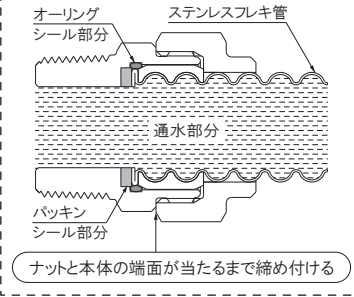
配管上、曲げ形状を形成する場合には、必ず使用するフレキ管の最小曲げ半径以上で曲げて下さい。（右表参照）

呼び径	φ16	φ16.8	φ20
最小曲げ半径	40mm	40mm	50mm

- 再施工してはイケません。漏水の原因となります。
- フレキカットジョイント・バルブは、埋設してはイケません。
- 接続部直後より、フレキ管を曲げて配管してはイケません。継手直後から20mmは曲げてはイケません。
- フレキ管に、釘を打ち込まないで下さい。また、フレキ管のつぶれがないようにして下さい。



### 【フレキカットジョイントの構造】



## 【施工手順】

- 強制** ナットの締付けは、本体の端面に当たるまで必ず締付けて下さい。不完全な締付けは漏水の原因になります。
- 強制** フレキ管と継手の接続は必ず機器に継手を取付けた後、接続して下さい。但し、ナット付アダプタータイプ・クイックファスナー接続タイプは、フレキ管の接続後でも機器に接続可能です。
- 禁止** 再施工してはイケません。漏水の原因になります。

**1** フレキ管専用カッターを用いてフレキ管を切断します。

- 強制** 必ずフレキ管専用カッターを使用して下さい。
- 強制** 切断面を必ず確認して下さい。悪い例（注意事項に記載）のような切断面の場合は、再度切断して下さい。

**2**

- ナットを外し、フレキ管を通します。
- 割リングを取出し、割ります。（手で簡単に割れます）フレキ管の先端を1山出して割リングではさみます。
- 本体に挿入し仮締めします。

- 禁止** 本体からは割リング以外取出してはイケません。

**3** 本体をスパナ等で固定して、ナットの端面が本体に当たるまで締付けます。

- 注意** 締付けが不完全な場合、漏水の原因になりますので注意して下さい。
- 強制** ナット端面が本体の端面に当たっていることを必ず確認して下さい。
- スパナは必ず2丁掛けして下さい。
- 禁止** バルブの本体とキャップの接合部にスパナを掛けてはイケません。（右図参照）

## 株式会社 オンダ製作所

●営業本部 〒501-3263  
岐阜県関市広見851番地の3  
TEL (0575)24-8585 (代)

URL <https://www.onda.co.jp/>

商品の技術的なお問合せ専用回線です。（ご注文は営業窓口へお願いいたします。）

お客様相談窓口 ☎ 0120-12-8585

受付時間 9:00～12:00/13:00～17:00（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）